

# 令和3年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和3年度分】

施設概要	名 称	①福間体育センター
		②津屋崎体育センター
		③福間武道館
		④津屋崎武道館
	所 在 地	①福津市西福間2丁目9番1号
		②福津市津屋崎1丁目5番1号
		③福津市西福間1丁目3番1号
④福津市津屋崎1丁目5番16号		
設置条例	①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則	
	③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則	
指定管理者	名 称	NPO法人スポーツニュースター
	代表者	理事長 沖 祐一
	所 在 地	福津市津屋崎1丁目36番23号
	指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
所 管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

## ◎モニタリング項目別の総合評価コメント

### I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)

#### 【運営状況】

コロナ禍での全館臨時休館(5～6月、8～9月)の影響により、開館日数及び時間が目標値を下回った。同様にコロナ禍の影響により、自主事業の開催中止、延期により、自主事業開催数が目標値を下回った。開館時には、感染対策として、こまめな衛生管理と館内の空調管理を講じることで、感染者の発生を防ぐ運営を行っている。

また、スタッフの接遇研修や緊急時対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。

自主事業として、貸しロッカーの設置のほか、ふくつ総合型地域スポーツクラブドリームスポーツネットワークの活動を支援し、多くの参加者、利用者を獲得している。

#### 【利用状況】

利用者数はコロナ禍での臨時休館等の影響が大きく、多くが目標値を下回った。同じコロナ禍であった前年実績(67,000人)からも約8%減となった。しかしながら、稼働率では、すべての施設で前年度を上回っており(1.5～5.4ポイント)、コロナ禍で利用を控えていた利用者の活動再開等が影響しているものと思われる。

#### 【収支状況】

収支においてもコロナ禍での臨時休館等の影響も考えられたが、他自治体からの利用者の増加もあり、利用料金収入実績は前年実績(4,948,410円)の約3%増となり、単年度での黒字化を果たしている。

<p><b>Ⅱ 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)</b></p> <p><b>【基本的事項】</b>          利用者が公平公正に利用できるようインターネットで分かりやすい施設空き状況の発信と窓口、電話受付時に具体的に分かりやすく対応、説明することを実践している。</p> <p><b>【執行体制】</b>          計画に沿ったスタッフ配置の実行と労働環境の整備、定期的な研修とミーティングを通じて、スタッフの健康管理、安全管理、教育を行い、常に適正な体制を整えている。</p> <p><b>【緊急時対策】</b>          年2回の消防点検や救急救命の研修を実施しており、緊急時における対応に備えている。また、夏期の熱中症対策のため、冷凍庫や保冷剤の確保を進めている。</p>
<p><b>Ⅲ 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)</b></p> <p>利用者の怪我や事故防止のため、備品の破損や故障について日常点検を行っている。貸ロッカーの設置による貸出備品棚の整理整頓により、利用者の利便性を向上している。開館時間15分前出勤と閉館後15分後退社の勤務シフトにより、日常の清掃と安全確認を行い、施設周辺の問題点等も日報を通じてスタッフ間で情報共有を行っている。</p>
<p><b>Ⅳ サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)</b></p> <p>利用者アンケートを実施し、備品の改善やフロアワックスなどの要望が多い事項について迅速に対応している。苦情トラブルについては、市所管課への迅速な報告と利用者対応、スタッフ教育等の適切な対応が取られている。施設周辺の高木、中低木の剪定を行い、安全管理面の環境整備を行っている。</p>

◎モニタリング全般の総合評価コメント

<p><b>◆ 総合評価コメント</b></p> <p>前年度に引き続き、コロナ禍による臨時休館等の対応による利用者数の減少や感染対策を講じながらの運営となったが、市所管課と連携し、施設運営及び維持管理を着実にこなし、施設のPRや利用促進を中心に、特色ある社会体育施設づくりへの取組みを実践している。市民を構成母体としている「定期利用団体」から定期的なアンケートで意見を集約し、ともに管理に関する理解を深めることを意識して対応することで、利用者の満足度も高水準を維持している。</p>
<p><b>◆ 今後の業務改善への考え方</b></p> <p>コロナ禍での管理運営や施設の施設の老朽化に伴う維持管理面での労力が増していくものと思われるが、他の施設管理でのノウハウを最大限発揮して、市と連携をより深め、ハードとソフトの両面において、より良い社会体育施設となることを期待する。</p>

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和3年度】

施設概要	名称	①福間体育センター ②津屋崎体育センター ③福間武道館 ④津屋崎武道館
	所在地	①福津市西福間2丁目9番1号 ②福津市津屋崎1丁目5番1号 ③福津市西福間1丁目3番1号 ④福津市津屋崎1丁目5番16号
	設置条例	①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則 ③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則
指定管理者	名称	NPO法人スポーツニュースター
	代表者	理事長 沖 祐一
	所在地	福津市津屋崎1丁目36番23号
所 管	指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日
	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I - 1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	①329②329③329④361	①244②244③244④264	
開館(開場)時間	①4,025②4,025③4,025④2,085	①2,964②2,964③2,964④1,479	
自主事業開催数	4 回	2 回	

I - 2. 利用状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント(計画との比較)
延べ利用者数	①	36,500 人	26,477 人 72.5%
	②	21,000 人	24,055 人 114.5%
	③	12,000 人	6,438 人 53.7%
	④	6,000 人	4,634 人 77.2%
	計	75,500 人	61,604 人 81.6%
事業参加者数	-	-	-
稼働率(平均)	①アリーナのみ	60 %	88.3 % 147.2%
	②	60 %	82.5 % 137.5%
	③	20 %	24 % 120.0%
	④	20 %	36.1 % 180.5%

I -3. 収支状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント(計画との比較)	
利用料金収入	①	2,300,000 円	3,022,910 円	131.4%
	②	1,500,000 円	1,847,120 円	123.1%
	③	150,000 円	170,720 円	113.8%
	④	50,000 円	66,330 円	132.7%
	計	4,000,000 円	5,107,080 円	127.7%
自主事業収入	自販機収入	350,000 円	191,737 円	54.8%
	自主事業	250,000 円	158,400 円	63.4%
	計	600,000 円	350,137 円	58.4%
その他収入	自販機収入外	146,000 円	593,142 円	406.3%
	計	146,000 円	593,142 円	406.3%
指定管理料	7,690,000 円	7,944,200 円	103.3%	
収入合計	12,436,000 円	13,994,559 円	112.5%	
人件費	7,458,000 円	7,216,832 円	96.8%	
修繕費	500,000 円	468,002 円	93.6%	
運営事業費	4,078,000 円	5,704,333 円	139.9%	
自主事業支出	400,000 円	303,610 円	75.9%	
支出合計	12,436,000 円	13,692,777 円	110.1%	
収支差引	0 円	301,782 円		

I 業務運営状況の総合評価コメント

【運営状況】

コロナ禍での全館臨時休館(5~6月、8~9月)の影響により、開館日数及び時間が目標値を下回った。同様にコロナ禍の影響により、自主事業の開催中止、延期により、自主事業開催数が目標値を下回った。開館時には、感染対策として、こまめな衛生管理と館内の空調管理を講じることで、感染者の発生を防ぐ運営を行っている。  
また、スタッフの接遇研修や緊急時対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。  
自主事業として、貸しロッカーの設置のほか、ふくつ総合型地域スポーツクラブドリームスポーツネットワークの活動を支援し、多くの参加者、利用者を獲得している。

【利用状況】

利用者数はコロナ禍での臨時休館等の影響が大きく、多くが目標値を下回った。同じコロナ禍であった前年実績(67,000人)からも約8%減となった。しかしながら、稼働率では、すべての施設で前年度を上回っており(1.5~5.4ポイント)、コロナ禍で利用を控えていた利用者の活動再開等が影響しているものと思われる。

【収支状況】

収支においてもコロナ禍での臨時休館等の影響も考えられたが、他自治体からの利用者の増加もあり、利用料金収入実績は前年実績(4,948,410円)の約3%増となり、単年度での黒字化を果たしている。